



おおもりかぐらだん どうこぞくとへいてい おおまさかりこんごう けいしゅう
大森神楽団「東国賊徒平定〜大鍔金剛の継承」



よしわかぐらだん じんりん
吉和神楽団「塵倫」



みのちこどもかぐらだん かつらぎさん
水内子ども神楽団「葛城山」



Photo by Keiko

しもいつはらかぐらだん もみじがり
下五原神楽団「紅葉狩」



みのちかぐらだん もどりばし
水内神楽団「戻り橋」



Photo by Mitsuo

くじまかぐらだん たきやしひめ
玖島神楽団「滝夜叉姫」



くりまかぐらだん やまたのおろち
栗栖神楽団「八岐大蛇」

第22回

さくらびあ

神楽共演大会

2024年 9/22 [日] 10:30 開演 (10:00 開場)

※ ほかから文化ホールウッドワンさくらびあ大ホール

全席指定
(税込)

1階席 / 一般1,300円・中学生以下500円
2階席 / 一般1,100円・中学生以下400円
※未就学児の膝上鑑賞は無料ですが着席鑑賞は有料です。

お問合せ・チケットの電話購入

ウッドワンさくらびあ 事務室
電話 0829-20-0111

チケット発売日 会員 7月21日(日) 一般 7月28日(日)

★ポイント
5%付与

チケット販売時間 9:00~21:00
(休館日:月曜日 ※祝日の場合は翌平日)

※会員・一般発売初日に限り、電話購入は11:00からの受付となります。

■チケット取扱い ウッドワンさくらびあ事務室、ローソンチケット(Lコード:61918)
さくらびあオンラインチケット(<https://online.hatsukaichi-csa.net/ticket/>)

神楽衣装の展示、お弁当・神楽グッズ等の販売も行います。

※録画、録音、写真撮影はお断りします。※敷地内は禁煙です。
※客席内での飲食、施設内での飲酒はご遠慮ください。※出演団体、演目、時間は変更になる場合があります。

アクセス

〒738-8509 広島県廿日市市下平良一丁目11-1
広電宮島線「廿日市市役所前」から徒歩約7分
JR山陽本線「宮内串戸」から徒歩約15分
※駐車場には限りがございます。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

スケジュール (予定)

| | | | |
|-------------|---------------------------|-------------|---------------|
| 10:30~10:45 | 吉和神楽団 儀式舞「四方祓い」 | 13:00~13:40 | 水内子ども神楽団「葛城山」 |
| 10:50~11:30 | 大森神楽団 「東国賊徒平定~大鍬金剛の継承」 | 13:45~14:30 | 下五原神楽団「紅葉狩」 |
| 11:35~12:15 | 吉和神楽団「塵倫」 | 14:35~15:15 | 水内神楽団「戻り橋」 |
| 12:15~13:00 | 休憩 | 15:20~16:00 | 玖島神楽団「滝夜叉姫」 |
| | | 16:05~16:45 | 栗栖神楽団「八岐大蛇」 |

プロフィール 出演団体のご紹介

(五十音順)

おおもり

大森神楽団(広島市佐伯区湯来町)

大森神楽団は、明治の初期から氏神社である大森八幡神社(広島市佐伯区湯来町伏谷)の奉納を第一義として活動してまいりました。台風による災害時を除いて、奉納の伝統を守ってきたことは私どもの誇りです。また、神楽の可能性を求めていく過程で、幸いにして、様々な行事に奉納する機会を得ることができるようになり、大変感謝しております。古き良き神楽の伝承にも心を配りつつ、地域に根付いた神楽団として先輩方の神楽への熱き情熱を良き伝統として引き継ぎ、『大森神楽』を皆様にお届けしたいと考えております。

くじま

玖島神楽団(廿日市市玖島)

玖島神楽団は、昭和53年に有志数名により発足し今年で46年目を迎えます。社会人の若い団員を合わせ、15名で活動しています。年間を通し、県内各地域の秋祭り、イベント等に出演し、勇壮で変化に富んだ八調子の新舞、旧舞を舞っております。郷土芸能の伝承、地域文化の更なる発展を目的に団員一同地域の方々の支援を受け、また、地域に貢献できるよう頑張っておりますので、皆様応援のほどよろしくお願いいたします。

くりす

栗栖神楽団(廿日市市栗栖)

昭和32年、栗栖地区の若者たちが郷土発展のためにと矢上系山県舞(六調子旧舞)を伝承し、栗栖神楽団として発足いたしました。現在10代から60代の団員で郷土芸能の伝承発展のため、日々精進しているところです。まだまだ経験不足で技術的にも未熟ですが、「神楽を舞わせていただく」という感謝の気持ちを忘れず一生懸命頑張っていきたいと思っております。

しもいつはら

下五原神楽団(広島市佐伯区湯来町)

当神楽団は、広島市佐伯区湯来町を拠点に活動しています。昭和47年に地元、下地区の神楽が好きな子どもたちによって、『下五原子供神楽団』として結成され、当時は「山県系六調子舞」を舞っていました。昭和57年頃には、団員の多くが成人となった事から、『下五原神楽団』と改名し、現在に至っております。現在は安芸高田市の神楽団から指導を受けた、阿須那系高宮八調子を演じています。現在の活動は、地元神社の神楽奉納をはじめ、各地でのイベント発表等、積極的に参加しています。まだまだ未熟ですが、みなさんに喜ばれる神楽を目指し、練習に励んでいます。これからもご支援ご指導をよろしくお願いいたします。

みのち

水内神楽団(広島市佐伯区湯来町)

当団は江戸天保年間より200年余りの歴史と伝統を今日に受け継ぎ、昭和38年4月には広島県民俗無形文化財の指定をいただきました。以来先人たちの遺した伝統を大切に団員一丸となって、神楽の芸・技の習練に励んでおります。現在は民俗無形文化財指定演目「五竜王」をはじめ、石見系山県神楽を中心に新舞・旧舞を問わず幅広く取り組んでいます。新しい試みとして、自ら文化の発祥となることを目指し、創作神楽にも挑戦いたしました。まだまだ未熟ですが、団員一同一生懸命練習に励み、郷土芸能として保存、継承に努めてまいりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。本日はお客様と一緒に楽しんで最後まで一生懸命舞わせていただきたいと思いますので、どうぞご声援のほどよろしくお願いいたします。

よしわ

吉和神楽団(廿日市市吉和)

昭和54年頃、吉和地域では古くから伝わっていた伝統芸能の神楽を復活させようと地域の有志や若者たちが集まり神楽団が結成されました。舞は、六調子系の旧舞による八岐の大蛇・大江山・塵倫・天神・羅生門・安達ヶ原のほか、八調子系の新舞による滝夜叉姫など、数多くの演目を上演しています。そのほか、後継者育成の取組みとして、子どもたちに神楽を指導しながら伝統芸能の大切さを伝えていきます。今後も団員一同精進し、一層稽古に励み伝統芸能を誇りに思う活動を続けたいと思います。

